

小・中学校の学校再編について

～「第5回 三種町立小・中学校再編準備委員会」～

令和3年12月20日：琴丘地域拠点センター

12月20日、第5回三種町立小・中学校再編準備委員会が開催されました。

今回は、新中学校の建設候補地である山本中学校敷地内、琴丘中学校・ことおか中央公園周辺を意見書にまとめることを確認する会となりました。意見書の【提言】と【今後配慮すべき事】について紹介します。

提言

統合中学校の建設場所は、山本中学校敷地内あるいは琴丘中学校・ことおか中央公園周辺のいずれかを適地と考える。

I. 山本中学校敷地内

(1) 建設の適地とする理由

①委員を対象とした意向調査において、第1候補地として64%を占めた。

②敷地内に主要施設を配置できる。公共施設（山本体育館、山本野球場等）の利用もできる。

③令和4年度から令和7年度までの工事で、令和8年度の開校が期待できる。

④合併特例債等の活用ができ、財源について見通しをもつて対応できる。

⑤通学距離が各地域の中間に位置する。スクールバスの運行では琴丘地域、八竜地域ともに30分程度で通学できる。

⑥中学校までの歩道と街灯が整備されている。

(2) 課題と解決策

①校地の一部に土砂災害特別警戒区域（体育館西側）が指定されている。現在、中学生が使用していることを考えても、早期に改修工事等による対応が求められる。

②グラウンドの広さを最大限確保するため、校舎の建て方等の工夫が求められる。

③生徒の安全確保の観点から、スクールバスのロータリーの設置を考えるべきである。

④校地内を通る公道に関することや、山本中学校入口の信号機周辺の安全対策が求められる。

II. 琴丘中学校・ことおか中央公園周辺

(1) 建設の適地とする理由

①委員を対象とした意向調査において、第2候補地として54%を占めた。

②琴丘総合体育館やテニスコート等、スポーツ施設が最も充実している。また、琴丘森岳ICも近く、他校との交流にも便利な位置にある。

③令和4年度から令和7年度までの工事で、令和8年度の開校が期待できる。

④合併特例債等の活用ができ、財源について見通しをもつて対応できる。

⑤山本・八竜地域がスクールバスの対象となる。

⑥中学校までの歩道と街灯が整備されている。

(2) 課題と解決策

①校舎からスポーツ施設までの距離等を考慮し、新校舎の建設場所は現校舎の位置が適している。それに伴い建設と旧校舎解体の時期や対応の検討が求められる。

②ことおか中央公園内にある多目的広場を学校のグラウンドとして活用することについては、公園施設の除外申請等の対応が必要である。

③山本地域の金岡地区からの通学に時間を要するため、対応を考えるべきである。

④ことおか中央公園入口の安全対策が求められる。

今後配慮すべき事

(1) 統合に関する準備委員会等を開催して、目指すべき教育の在り方を早急に検討し、統合後の学校がスムーズにスタートできるように努めること。

(2) 将来を担う子どもたちの教育環境を第一に考え、特色ある学校づくりに努めること。

(3) 統合を見据え、3つの中学校の生徒の交流に努めること。

(4) 遠距離通学となる生徒や保護者の負担を考え、適切な通学支援を検討すること。

(5) 統合に関する委員会の協議の内容について、町民への広報に努めること。

(6) 学校再編後の校舎等の利用方法について、地域住民と共に検討すること。

以上の内容等が意見書に盛り込まれ、12月23日に町教育委員会に提出されました。

今後、定例教育委員会で協議したうえで町総合教育会議を開催して候補地を決定し、町議会へ説明後、町民対象の報告会を開催する予定です。



学校再編情報コーナー

— 発行者 —

令和3年 第7号

三種町教育活動推進員

長浜 中